

## 参加者の声

今回のプロジェクトには、北宇和高校地方創生・広報委員長として、地元に住んできた一住民として、鬼北町がより良くなればと思い取り組んでいます。自分たち高校生の意見で、鬼北町がより良くなるよう、今後も頑張っていきます。



やまもと よしひろ  
山本 祥裕 さん

20年程前、学生時代に慣れ親しんだ駅周辺が、今では空き店舗・空き地等で寂しくなってきました。学校以外の時間でも、駅周辺で過ごしたいと思えるような街に戻ってほしいとの願いを込めて、プロジェクトに参加しました。



やました きよこ  
山下 聖子 さん

以前から町おこしには関心があり、プロジェクトに参加させていただきました。参加している高校生たちの熱意に関心し、一緒に町のためにできることを考え、形にしたいと思いました。微力ですが、よろしくお願いいたします。



じょうこう たみじ  
上甲 民治 さん



①北宇和高校の生徒と一緒に近永駅周辺を散策。かつての賑わいを取り戻すため、現状や問題点を把握 ②班で話し合ったことや自分の思いを熟弁する参加者 ③参加者とともにまちの未来を語り合う ④北宇和高校で行われたワークショップの様子。青木ファシリテーターらと一緒にまちの未来を考える ⑤地域住民、北宇和高校生、行政が一体となってまちの未来について意見交換 ⑥世代を超えて語り合う

### プロジェクトメンバー募集!

「近永駅周辺賑わい創出プロジェクト」は、ざっくばらんに自由に意見が言い合える場です。主に参加者によるワークショップ形式で活動していきます。「賑わいを取り戻したい」「こんなまちになってほしい」という思いを皆さんと一緒に語り合い、創っていきませんか?

次回開催日 日時 7月27日(土)13時30分～  
場所 近永公民館

もと、生徒と一緒に近永駅周辺を散策。実際に自分の目で見て、今抱えている問題を皆で共有しました。夕方には、メンバー全員が集結し、「近永駅とその周辺がこうなっていくと良いなあ」をテーマにワークショップを開催。参加者たちはアイデアを出し合い、他のメンバーの意見に共感したり、新たなアイデアを見出したりしていました。その後、子どもが遊べる駅、休憩・勉強スペースがある駅など、メンバーから出た意見をもとにいくつかの班に分かれ、近永駅周辺の未来について語り合い、創造を膨らませていきました。かつての「賑わい」を取り戻すため、それぞれの思いが「まちの将来」を創っていきます。